

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	事務事業名 登別市個別排水処理施設整備事業
-------------------	------------------------------

区分	番号	名 称						
章	2	自然とともに暮らすまち						
節	1	環境への負荷の少ないまちをつくる						
施策	3	生活排水の適正な処理						
小分類	2	合併浄化槽の普及						
主要な施策	1	個別排水処理施設の整備						
事務事業番号	001	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td style="background-color: #f4b084;">事務事業コード</td> <td>21321001</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業開始年度</td> <td>平成 1 6 年度</td> <td style="background-color: #f4b084;">事業終了年度</td> <td>平成 - 年度</td> </tr> </table>	事務事業コード	21321001	事業開始年度	平成 1 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度
事務事業コード	21321001	事業開始年度	平成 1 6 年度	事業終了年度	平成 - 年度			

会計種別	公共下水道事業特別会計	予算書上の事務事業名	登別市個別排水処理施設整備事業
------	-------------	------------	-----------------

部 名	都市整備部	グループ名	下水道 G
-----	-------	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施目的を具体的に記載してください）</p> 公共下水道の整備区域以外の地域について、生活雑排水等の処理を促進することを目的とする。																								
手段 （事業の内容・活動）	<p style="background-color: #ffffcc;">（目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください）</p> 対象地域：公共下水道整備区域外 対象となる建物：専用住宅、店舗併用住宅、共同住宅、事務所 （別荘、公営住宅、公共施設は除く） 事業内容：浄化槽を市が設置し、設置工事費用の1割、電気料、使用料を使用者が負担し、設置工事費の9割、浄化槽の点検や故障対応などの維持管理費を市が負担する。																								
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">（事務事業の実施成果を具体的に記載してください）</p> <table style="font-size: small;"> <tr> <td>設置年度</td> <td>H16</td> <td>H17</td> <td>H18</td> <td>H19</td> <td>H20</td> <td>H21</td> <td>H22</td> </tr> <tr> <td>設置数</td> <td>14</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td colspan="7">48基設置</td> </tr> </table>	設置年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	設置数	14	11	7	4	4	4	4	合計	48基設置						
設置年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22																		
設置数	14	11	7	4	4	4	4																		
合計	48基設置																								
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">（事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください）</p> 浄化槽法、登別市個別排水処理施設条例、登別市個別排水処理施設条例施行規則																								

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	浄化槽設置数	個	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	4	/	/	/	/
			目標値					
			実績値		/	/	/	/

事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円	14,800	10,400	10,400	10,400	10,400	31,200
	その他 名称	千円			778	778	778	2,334
	一般財源 名称	千円	2,347	2,200	1,422	1,422	1,422	4,266
合 計			17,147	12,600	12,600	12,600	12,600	37,800
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	1,991	2,045			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		1,991	2,045			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 公共下水道整備区域以外の地域において、浄化槽を設置することによって、公衆衛生が向上し、あわせて公共用水域の水質が保全されるため妥当です。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 整備件数が着実に増加しているため、成果が上がっていると考えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 対象使用者に対して当該事業の周知を図り、普及に努める。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 工事施工に必要な設計・積算・監督業務を行っていることから、削減することは難しい。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	市が事業主体となり、事業を進めることによって、公共下水道整備区域以外の地域において、浄化槽の設置が促進され、その周辺地域の公衆衛生が向上し、あわせて公共用水域の水質が保全されることから、今後も維持すべき事業である。
-----------	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）